



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <http://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第2四半期 | 49,156 | △20.0 | 19,438 | △27.1 | 19,349 | △26.5 | 12,033 | △28.4 |
| 28年12月期第2四半期 | 61,443 | △25.4 | 26,666 | △35.7 | 26,334 | △36.6 | 16,807 | △36.1 |

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 12,328百万円(△23.5%) 28年12月期第2四半期 16,112百万円(△38.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第2四半期 | 16.92 | 16.88 |
| 28年12月期第2四半期 | 17.52 | 17.50 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年12月期第2四半期 | 64,480 | 51,338 | 75.8 |
| 28年12月期 | 55,032 | 40,984 | 70.6 |

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 48,854百万円 28年12月期 38,859百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |
| 29年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年12月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成29年7月28日開催の取締役会において、当第2四半期末の配当金を無配とすることを決議いたしました。なお、当期末配当額につきましては未定であります。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|----------------|-------------|----------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年12月期 2 Q | 952, 103, 160株 | 28年12月期 | 952, 103, 160株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年12月期 2 Q | 240, 928, 438株 | 28年12月期 | 240, 928, 438株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年12月期 2 Q | 711, 174, 722株 | 28年12月期 2 Q | 959, 474, 722株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・平成29年7月28日（金）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間) | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書(第2四半期連結累計期間) | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本におけるスマートフォンゲーム市場は、スマートフォンの普及拡大に伴って成長し、平成29年には9,600億円（出典：株式会社矢野経済研究所）になるとの予測もありますが、その成長速度はこれまでと比べ緩やかになり、安定的に推移しております。

一方で、日本における家庭用ゲーム市場は緩やかな減少を続けてまいりましたが、新型ゲーム機やVR（バーチャルリアリティ）端末等、新しい技術やゲームの楽しみ方が提案され、新たな市場の創出も期待されております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主力ゲームである「パズル&ドラゴンズ（以下「パズドラ」）」の売上高が減少したことから、対前年同期比で減収となりました。このような状況の中、当社では「新規価値の創造」に向け、グローバル配信を前提とした新作ゲームの開発及び配信、並びに既存ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大に向けた取り組みに注力してまいりました。

新作ゲームでは、平成28年12月3日に北米・欧州へ配信を開始したプレイステーション®4向けオンラインアクションゲーム「LET IT DIE（レット イット ダイ）」を平成29年2月2日より日本・アジアへ配信を開始し、平成29年5月15日には全世界累計で300万ダウンロードを突破いたしました。「LET IT DIE」はオンラインゲームであることから、イベント等の実施やアイテムの追加等を行っており、平成29年6月29日には新エリアの追加を含めた大型アップデートを実施し、世界規模でのユーザー層の拡大及び長期的にお楽しみいただける運営に取り組んでおります。

既存ゲームでは、平成24年2月20日の配信から5周年を迎えた「パズドラ」は、5周年を記念したイベントを継続して実施したことに加え、他社有名キャラクターとのコラボレーションや、モンスターの「トレード」機能を含むアップデートを行ってきたことからMAUは引き続き堅調に推移しております。なお国内累計ダウンロード数は平成29年7月1日に4,600万を突破いたしました。また、スマートフォン向け新感覚パネルRPG「ディバインゲート」におきましては、2017年夏に、さらにスピーディーに遊びやすく進化した「ディバインゲート零」となり、新たなストーリーが展開される新章がスタートいたします。

また、平成29年5月28日に幕張メッセで開催した「ガンホーフエスティバル2017」におきましては、今年も引き続き「パズドラ」の日本No.1を決める「パズドラジャパンカップ」の開催や、当社のゲームに縁のある豪華アーティストが多数出演するライブステージを行うなど、新たな取り組みも行っておりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は49,156百万円（前年同期比20.0%減）、営業利益19,438百万円（前年同期比27.1%減）、経常利益19,349百万円（前年同期比26.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,033百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における資産合計は、64,480百万円（前連結会計年度末比9,447百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、13,142百万円（前連結会計年度末比905百万円減少）となりました。これは主に、法人税等を支払った結果、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、51,338百万円（前連結会計年度末比10,353百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 33,876 | 44,613 |
| 売掛金 | 9,063 | 10,518 |
| 有価証券 | 1,302 | 1,326 |
| 商品 | 4 | 7 |
| 仕掛品 | 82 | 103 |
| 繰延税金資産 | 517 | 307 |
| その他 | 2,362 | 1,391 |
| 貸倒引当金 | △25 | △28 |
| 流動資産合計 | 47,183 | 58,240 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産合計 | 814 | 665 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,876 | 184 |
| ソフトウェア仮勘定 | 433 | 599 |
| その他 | 88 | 96 |
| 無形固定資産合計 | 2,397 | 880 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 349 | 334 |
| 繰延税金資産 | 1,116 | 1,497 |
| その他 | 3,286 | 2,979 |
| 貸倒引当金 | △115 | △118 |
| 投資その他の資産合計 | 4,636 | 4,694 |
| 固定資産合計 | 7,848 | 6,240 |
| 資産合計 | 55,032 | 64,480 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 561 | 1,334 |
| 短期借入金 | 804 | 200 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 195 | 143 |
| 未払法人税等 | 6,948 | 6,150 |
| 賞与引当金 | 6 | 7 |
| その他 | 4,306 | 3,781 |
| 流動負債合計 | 12,822 | 11,617 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 123 | 139 |
| 退職給付に係る負債 | 10 | 14 |
| その他 | 1,091 | 1,370 |
| 固定負債合計 | 1,225 | 1,524 |
| 負債合計 | 14,047 | 13,142 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,338 | 5,338 |
| 資本剰余金 | 5,469 | 5,469 |
| 利益剰余金 | 108,346 | 118,246 |
| 自己株式 | △80,130 | △80,130 |
| 株主資本合計 | 39,023 | 48,923 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △164 | △68 |
| その他の包括利益累計額合計 | △164 | △68 |
| 新株予約権 | 429 | 588 |
| 非支配株主持分 | 1,696 | 1,894 |
| 純資産合計 | 40,984 | 51,338 |
| 負債純資産合計 | 55,032 | 64,480 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 61,443 | 49,156 |
| 売上原価 | 20,461 | 17,772 |
| 売上総利益 | 40,981 | 31,384 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,314 | 11,945 |
| 営業利益 | 26,666 | 19,438 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 35 | 27 |
| その他 | 22 | 23 |
| 営業外収益合計 | 57 | 51 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14 | 9 |
| 為替差損 | 365 | 122 |
| その他 | 9 | 8 |
| 営業外費用合計 | 389 | 140 |
| 経常利益 | 26,334 | 19,349 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 514 | 1,385 |
| 特別損失合計 | 514 | 1,385 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 25,820 | 17,963 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,346 | 5,921 |
| 法人税等調整額 | △190 | △171 |
| 法人税等合計 | 9,156 | 5,750 |
| 四半期純利益 | 16,663 | 12,213 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △143 | 179 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 16,807 | 12,033 |

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 16,663 | 12,213 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △121 | — |
| 為替換算調整勘定 | △430 | 115 |
| その他の包括利益合計 | △551 | 115 |
| 四半期包括利益 | 16,112 | 12,328 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 16,414 | 12,128 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △302 | 199 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。